



仰星

校訓
質進

実取

剛創

健造

言葉で闘うディベート甲子園 in 普天間

肯定派否定派で論戦!!

6月12日(水)5,6校時、総合的な探究の時間に3年生は「ディベート甲子園in普天間」を開催いたしました。ディベートは、特定のテーマにつき肯定派と否定派の立場に分かれて意見を戦わせ、最終的に勝敗を決める討論のことです。ディベート当日までの間に、各班に分かれテーマについて、リサーチをして肯定側・否定側のそれぞれの立場から、主張をサポートする資料を集め、いかに論証するか取り組んできました。

今回は「①日本は原子力発電所をすべて廃止すべきである。是か非か」「②日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か」「③日本は普天間飛行場を辺野古に移設すべきである。是か非か」「④日本は代理出産を合法化すべきである。是か非か」の4つのテーマについて、ディベート(1試合25分)が18会場に分かれて行われました。2年生が傍聴する中、どの会場も肯定派と否定派の熱い論戦が繰り広げられていました。

「企業が求める人材ランキング」で「コミュニケーション能力が高い人物」が16年間1位にあげられています。このディベートを通して「コミュニケーション能力」だけでなく「論理的思考力」「自分の考えをわかりやすく伝える力」「混みあった話を整理する力」「情報リテラシー」等が育つとされています。3年生は、社会に出た時、今回のディベートの経験を生かして欲しいと思います。

